

4 自然の恵みを生かす畑作や酪農、漁業

○気候と広い土地を生かした畑作

十勝平野や北見盆地：降水量が少なく、栄養分が乏しい土壌

→堆肥などを用いて豊かな土壌を作り、日本有数の（畑作）地帯へ発達

┌ 耕地をいくつかの区画に分け、年ごとに栽培する作物を変える（輪作）を行う

└ 大型の農業機械で広大な土地を耕す

例）寒さや乾燥に強い作物の栽培：小麦やてんさい、じゃがいも、豆類など

○寒冷な気候を生かして発展した酪農

北海道の東部と北部：夏でも濃霧の影響で気温があまり上がらない

→寒い地域で栽培できる牧草と、（酪農）が発展

例）根釧^{こんせん}台地：日本有数の酪農地域

北海道産の生乳：全国で生産される半分以上を占める

┌ 乳製品をつくる食品工業の発達

└ 大規模化や機械化により、生乳の大量生産が可能

└ 輸送技術の発達により、生乳を国内外に出荷

○北海道を取り巻く豊かな漁場

北海道：日本海・太平洋・オホーツク海に囲まれる

→水産物の漁獲量が非常に多い

例）さけやます、昆布、ほたてなどの漁獲量が高い

1970年代以前：アラスカ沖などで（北洋漁業）が盛ん

→各国が排他的経済水域を設定し、北洋漁業が衰退

1970年代以降：沿岸漁業や沖合漁業のほか、（養殖業）や（栽培漁業）が盛ん

→漁港の周りに水産加工場が集まり、加工品を国内外に出荷